

Case Studies



活業 事 例 集



活業 事例 集

Case Studies Menu

「情報機器」を
活かす

PCやサーバーの買取・回収・データ消去 キットティングやレンタルなどのご支援

- | | | | |
|---|-----|--|-----|
| 1 郵便事業：全国2万拠点8万台のPC類回収買取
- 情報機器買取 - | P4 | 11 保険業：リースアップ品の回収、返却代行
- リース返却代行 - | P14 |
| 2 製造業：各拠点ごとの状況に合わせたPC回収
- 情報機器買取 - | P5 | 12 ガス・電気：セキュリティカーゴ貸出で定期回収
- 情報機器定期回収 - | P15 |
| 3 教育・学校：市内の小学校56校からパソコン回収
- 情報機器買取 - | P6 | 13 情報通信業：PC入替え業務に適したキットティング
- キットティング - | P16 |
| 4 金融業：タブレットとスマホのリプレイス買取
- 情報機器買取 - | P7 | 14 情報通信業：お客様のリソース不足を解消するIT業務
- キットティング/オンサイト - | P17 |
| 5 保険業：データセンター移転、サーバデータ消去
- データ消去/サーバー - | P8 | 15 情報通信業：現地でOSアップグレード・キットティング
- キットティング/オンサイト - | P18 |
| 6 情報通信業：現地でHDDの物理破壊と破壊画像提出
- データ消去/オンサイト - | P9 | 16 情報通信業：SlerからPC1000台キットティング依頼
- キットティング - | P19 |
| 7 建設・不動産業：SSD専用の物理破壊機による現地消去
- データ消去/オンサイト - | P10 | 17 サービス業：企業のIT研修用レンタルPC
- PCレンタル - | P20 |
| 8 放送・出版業：情報の機密性にに応じたオンサイト消去
- データ消去/オンサイト - | P11 | 18 放送・出版業：映画撮影用PC数百台レンタル
- PCレンタル - | P21 |
| 9 情報通信業：データ消去作業のライブ配信
- データ消去 - | P12 | 19 教育・学校：映像授業用リユースPC販売
- PC販売 - | P22 |
| 10 官公庁・行政機関：NIST消去方法でHDD/SSDを完全消去
- データ消去 - | P13 | 20 金融業：電話交換機 PBX、ビジネスフォン処分
- その他OA機器処分 - | P23 |

「不要品」を
活かす

什器類や不要品のリユース・リサイクル・処分のご支援

- | | | | |
|---|-----|--|-----|
| 21 製造業：什器類とPCの同時回収で処分費をゼロに
- 什器類処分/滞留不要品 - | P24 | 28 保険業：大量の災害備蓄品を撤去して処分
- 不要品処分 - | P31 |
| 22 運輸・物流業：残置物オフィス什器の循環型処分
- 什器類処分/移転残置物 - | P25 | 29 建設・不動産業：移転に伴う残置物回収・機密書類溶解
- 什器類処分/書類処分 - | P32 |
| 23 製造業：6フロアのオフィス不要品撤去・買取
- 什器類処分/移転残置物 - | P26 | 30 教育・学校：廃校となった大学の残置物撤去・回収
- 不要品処分/専門什器処分 - | P33 |
| 24 放送・出版業：50名程のフロア縮小に伴う残置物処分
- 什器類処分/移転残置物 - | P27 | 31 小売業：POSレジ、釣銭機入れ替え回収
- 専門機器処分 - | P34 |
| 25 小売業：7フロア分の間仕切り解体・処分
- 解体・撤去 - | P28 | 32 金融業：入れ替えに伴いATM150台撤去回収
- 専門機器処分 - | P35 |
| 26 卸売業：クリーニング工場の撤去・解体・廃棄
- 解体・撤去 - | P29 | 33 宿泊業：10フロア320客室のホテル備品撤去
- 専門什器処分 - | P36 |
| 27 放送・出版業：業務用大型印刷機の解体撤去・空調撤去
- 解体・撤去 - | P30 | 34 病院・医療：病院一棟500病床の不要品撤去買取
- 専門機器/専門什器処分 - | P37 |

「オフィス」を
活かす

オフィス環境構築のご支援

- | | | | |
|--|-----|---|-----|
| 35 サービス業：周年記念のオフィスリフォーム
- オフィスリフォーム - | P38 | 37 放送・出版業：グループ会社含め計7社の引越しPM
- オフィス移転 - | P40 |
| 36 製造業：オフィス新設工事の"プロマネ"
- オフィス工事 - | P39 | 38 病院・医療：新拠点でオフィス家具の定額利用
- オフィス家具サブスクリプション - | P41 |



当社の企業理念は「活業」。
これは、今ある人やモノの力を活かし、つなげることにより、
人・社会・地球をより豊かにしていくことです。

お客様が今お使いの、または不要になった全ての
「情報機器」「不要品」「オフィス」を
4つの機能により、ワンストップで活かします。

- 1. 環境 → リユース・リサイクル
- 2. 物流 → 全国自社物流網
- 3. IT → ITソリューション
- 4. 建設 → オフィス建設



対象物
(一例)

「情報機器」を
活かす



「不要品」を
活かす



「オフィス」を
活かす



「情報機器」を
活かす

郵便事業

全国 2 万拠点 8 万台の PC 類回収買取

事例

1

全国回収物流網を構築し、 業界最大の回収案件を完遂



全国回収に対する物流オペレーション、
回収後のデータ消去までワンストップ

解決

全国に点在する全ての郵便局へ日々訪問し PC 類を回収する全国物流網を構築。そして各郵便局の対応と物流管理を行う特別オペレーションチームを設置。

全国各地の郵便局への回収連絡及び電話対応を行うコールセンターと、全国の物流を調整・管理するチームを運営することにより、1 年間かけて全国の郵便局から下記物品を回収し買取。

- ① ノート PC 約 83,000 台
- ② プリンター 約 40,000 台

回収したノート PC は、1 台毎に貼付けされていた郵便局の資産管理シールを剥離し、世界最高峰の業務用データ消去ソフト「Blancco」を使用してデータ消去を実施。

回収時と回収後の数量確認書・検品報告資料など、郵便局の要望に沿った各種資料提出の他、データ消去作業完了報告書を全数・全拠点分提出。

買取後は当社キitting & リペアセンターにて改めて検査・修理を実施し、リユース PC 及びレンタル PC として再利用。プリンターはリサイクル処理を施し資源化。
本案件は、回収拠点数・回収台数共に業界最大の事例となった。

検討課題

基幹システムの入替に伴い適合する PC やプリンターを新たに導入するため、全国各地にある郵便局の端末を処分する必要があった。

当初は保管場所を 1 カ所設置し、各郵便局から不要 PC を直送させ収集管理する予定だったが、保管場所の確保・コストにより断念。
新たな処分方法を探していた。

未回収がないよう
細心の注意を払う自社物流



専用カーゴで
PC を回収



TC (テクニカルセンター)
でデータ消去



プリンターも
同時回収

POINT

- 1. 全国物流網
- 2. 1 社で完遂
- 3. 特別チーム編成
- 4. 業界最大事例

「情報機器」を
活かす

製造業

各拠点ごとの状況に合わせたPC回収

事例

2

拠点ごとの処分台数に合わせた 回収方法によりお客様予算内でPCを回収

自社セキュリティ回収便



ボックスチャーター回収便



小口集荷回収便



置きカーゴ回収便



直送受付



検討課題

数年に一度のPCリプレイスに伴い、全国に点在する35拠点でPCを入れ替える必要がありました。

入換え台数の多い拠点と、台数の少ない拠点とは100台単位で数が変わる事から、回収するPCを一律で当社セキュリティトラックのみで全国の各拠点へ訪問回収すると、予算が超過するため、回収方法のご相談をいただきました。

拠点ごとの処分台数に応じた 回収方法をご提案

自社回収便、提携回収便、小口回収便を合わせて
コストを削減。各回収方法で安全性を確保

解決

全国35拠点の中、100台以上PCがある拠点は7拠点、50台前後の拠点は15拠点、10台未満は13拠点ありましたので、先方の処分予算に合わせて拠点毎に回収方法を提案。

- ① 100台以上の7拠点
↳ 当社セキュリティ回収便で訪問回収。
- ② 50台前後の15拠点
↳ 提携会社のボックスチャーター回収便を手配。
- ③ 10台未満の13拠点
↳ 小口集荷回収便を手配。

安全に回収するため、自社セキュリティ回収便は回収訪問時にお客様の機器リストを元に、機種と台数を確認した上でPCを積荷したセキュリティカーゴの施錠を、お客様側で暗証番号を設定いただき回収。ボックスチャーター回収は提携会社がその場で個数を確認し、施錠後カーゴ自体をカバーで覆って回収。

10台未満の拠点には、事前に折り畳みコンテナボックスと鍵を当社がお送りし、お客様ご自身でPCを入れて外から南京錠で施錠いただき、お近くの配送会社から集荷回収。

この3通りの回収方法により懸念されていた回収コストと安全面をクリアして全数を買取いたしました。

この他、当社ではセキュリティカーゴの無料貸出による集荷回収依頼や直送受付にも対応しております。



拠点ごとの保有台数の違いに回収も対応



機器リストを元に現物と台数を確認



開錠番号を開封防止
シール付き封筒に

POINT

1. 複数の回収方法
2. 安全面でも対策済
3. BOXチャーター便
4. 小口集荷便

「情報機器」を
活かす

教育・学校

市内の小学校56校からパソコン回収

事例

3

教育委員会の処分物の仕分けと56校分の 回収作業と買取により職員の工数・費用負担を軽減



検討課題

市の教育委員会から市内の学校のパソコン及び学校什器の産廃の相談を受けました。

教育委員会の職員の処分における工数と最適化をされたいという事でした。

今まで複数の業者に入札で都度実施していたため、職員の工数・費用負担が大きかったようです。

情報が入ったPCとサーバ OA機器の一括回収

職員の工数を大幅削減する 処分物の仕分けと物の一括回収

解決

教育委員会職員の工数削減及び廃棄コストの最適化を目的とし、処分物に対して、対象物の仕分けと処分方法をまずは確定させました。

<情報機器>

- ・情報が入っている端末機器は回収してデータ消去後にリユース買取
- ・情報が入っていない周辺機器は回収後リサイクル買取又は廃棄処分

<什器>

- ・再利用できる物はリユース・リサイクル買取
- ・再利用できない物はマニフェストを発行して廃棄処分

56校に訪問して作業を実施。

情報機器類：パソコン約800台、モニター、サーバー等のOA機器

什器類：プリンター、投影機、プロジェクター等の廃プラ系

※その他小型の不要什器類も同時回収

結果、廃棄コストは前年比40%減を実現し、職員が廃棄対象のリスト収集を職員が行うだけになったため、大幅に職員の工数を削減。



教育委員会から
のご相談



56校から
パソコン回収



情報機器類は回
収後データ消去

POINT

1. 教育委員会
2. 処分品の仕分け
3. 56校回収
4. データ消去

各支店の窓口説明用のタブレットと 社内連絡用スマートフォンのデータ消去と買取



検討課題

各支店の行員様が窓口でお客様説明用にご利用されているタブレット端末と社内端末用のスマートフォン。

システムの入替えに伴い新機種に移行するが、購入分とリース分の全端末をどのような処理するか検討していた。

調達時の契約の兼ね合いもありSIMカードの処遇にも悩まれていました。

**170支店3,000台の
タブレット・スマホのリプレイス**

リース品と資産品を分別・新機種へのリース継続利用分はデータ消去後にSIMカードを抜き出して返却

解決

各支店への連絡調整業務も引き受けた上で、計3,000台の機器回収と機器名・拠点名・所有者などのお客様情報と回収実機を照合し、リスト提出。データ消去と買取・SIMカード抜き取り返却を実施。

全国170支店のご担当者の方々に、当社テクニカルセンターへの直送方法をご連絡。発送いただいた後は着荷次第検品し、商品名・型番・管理番号・SIMカードシリアル番号を取得してお客様へリスト化して報告。

端末内のデータは、スマートデバイス用の消去ソフト「Blanco Mobile」でタブレットとスマートフォンのデータを消去。これによりデバイスの初期化とは違い、メモリー内のデータを復元できない状態に。

端末ごとの起動パスコードも予めいただいており、パスコードが間違っていたり、起動不良のタブレットとスマートフォンは、お客様の希望によりリース品を除き物理破壊によるデータ消去を実施。（メモリーを抜き出して破砕処理）

リース分はSIMカードを抜き出し、シリアル番号と管理番号を照合し、お客様へ機器と共に返却。

データ消去証明書と機器ごとの処理方法が記載された明細書を提出し、売却分は機器の状態を個体ごとに明記した上で買取。



パス解除出来ない物は物理破壊



メモリーの取り外し処分



SIMカード返却

POINT

1. 機器とリストの照合
2. 専用データ消去
3. メモリー拔出し
4. SIMカード返却

データセンター移転、サーバデータ消去

アンマウント作業含め、30名体制による オンサイトサーバデータ消去 600台を実現



SE 部隊によるオンサイト
サーバアンマウント & データ消去

解決

当社はサーバアンマウント技術とサーバデータ消去技術を含め記録媒体全てを消去出来る技術体制を備えており、スタッフもデータセンター内での作業に対応している。

更に不要品の撤去・解体・買取・廃棄にも対応しているため、先方の課題を全て解決。

当社がワンストップで全てを対応できるため、煩わしい業者選定、作業範囲や日程の調整、見積・発注業務を大幅に削減。

当社が行った主な作業内容は下記。

- ① サーバデータ消去 600台 (アンマウント & オンサイト物理破壊)
- ② サーバラック撤去回収
- ③ リースサーバ返却代行
- ④ PCデータ消去 300台 (オンサイトHDD物理破壊)
- ⑤ オートラック 30台 解体撤去
- ⑥ 磁気テープ消去 3,000本 (オンサイト磁気消去)
- ⑦ 机・椅子・OAラック・雑品数百箱分の撤去回収

30名体制でのオンサイト消去作業と1週間で計4t車60台が回収運搬に出勤して完遂。

検討課題

サーバ600台が設置されたデータセンターの移転を予定しており、サーバ機器のアンマウント、ラック撤去の他、オートラックの解体及び中にある磁気テープを処分する必要があった。

データセンター移転に伴いOAラック、机、椅子に至るまで全ての処分を検討していた。

保管している磁気テープを消去し、
オートラックも解体撤去



1週間で
60台出勤



サーバ
アンマウント



PC300台も
データ消去

POINT

1. センター内作業
2. アンマウント
3. オンサイト消去
4. 不要品同時撤去

現地でHDDの物理破壊と破壊画像提出

入館前と作業後に持ち込み機材・手荷物 身体検査を実施するオンサイト消去



検討課題

お客様側のセキュリティー・ポリシーにより、PCを処分するにはデータ消去がされていない状態では敷地外に持ち出せないため、お客様側のPC保管現場で処分PCのHDD物理破壊を検討されていました。

但し、対象機器とそれ以外の機器も混在していたため、仕分け含め期間内での処分が間に合うか懸念されていました。

**HDD 専用の物理破壊機で、
穴を開け復旧不能に**

**元のPCと取外したHDDを紐付けし、
破壊画像前と後を写真撮影・現地で画像提出**

解決

保管場所に資産PCとリース物品のPCも混在しており、機器リストと現物の照らし合せをして処分対象物を仕分けした上で、安全に資産PCのみハードディスク（以下HDD）を物理破壊したいとの事でした。

当社が現地に訪問して改めて機器を調査し、現物の固有情報からリスト化。先方がその機器リストを元に仕分け行った後に、保管場所ですら処分対象PCのHDDを抜き出して専門機器を使用した破壊処置を提案。

安全な作業を行うために、事前に各作業員名と持ち込み機材、作業時間の目安などをお伝えし、保管場所への入館時と退館時には、金属探知機検査による身体検査と事前に申請した持ち込み機材リストや手荷物をご担当者にご確認いただきました。

各PCにバーコードを貼付けして個別情報をデータベース化し、機器リストと照合。合致しなかったPCをお客様にご報告してリース物件を除外。

物理破壊対象となるPCからHDDを取外した後、取外されたPC筐体と同じバーコードを貼付けしてデータベース上で紐付けし、HDDもシリアル番号を取得して個別識別。お持ちした専用の物理破壊機でHDDを加圧変形させて破壊。破壊前と後で写真を撮影しデータベース上に登録して改めて照合。最後に破壊された現物を確認いただき、その場で作業完了報告書と破壊前と後の画像をお渡し、HDDが抜かれたPCと破壊されたHDDを回収しHDDをリサイクル処分。



**物理破壊機を
現地持ち込み**



**加圧変形させて
HDDを破壊**



**PC筐体と外した
HDDを紐付け**

POINT

1. 訪問消去
2. 金属探知機検査
3. 筐体とHDD紐付け
4. 現地で破壊画像提出

SSD専用の物理破壊機による現地消去

SSDを間違いなく取り外す運用体制と
専用機器による確実な物理破壊及び証明書の提出

徹底した個体管理と各作業の確認作業により
確実なSSDの物理破壊と証明写真の取得

解決

当社では、様々な形状・規格が存在し物理破壊が難しいとされているSSDも、専用の物理破壊機で完全破壊しています。SSDは小型化が進んでおり、格納場所もメーカー・機種ごとに変わる可能性があるため、当社では物理破壊時の抜き漏れ防止のために、作業マニュアルを共有し、予め確認箇所などの作業チェック項目を設けてSSD物理破壊の作業を管理をしています。

SSD物理破壊の工程としては、まずはSSDが入っているPC筐体からSSDを抜き出します。抜き出したSSDにPC筐体と同じ管理バーコードを貼り付けてデータベース化し、2つを紐付けして個体ごとに作業進捗管理をします。

専用の破壊機により、SSD本体に最大80箇所（裏表）に穴を開けてSSDのチップを破壊します。破壊の証明は、貼付けした管理バーコードとSSDのシリアル番号が一緒に写った状態で物理破壊前と後の写真を撮影。データベース上で個体の照合後に破壊証明写真を無料で提出します。

尚、SSDを物理破壊したPCの回収後に、PC電源を起動してSSDの確認と同時に目視でもSSDの有無も確認し、物理破壊前と後の写真も専門スタッフが目視で1つ1つ確認した上で提出しています。

本案件では、現地で300台のPCからSSDを抜き出して、その場で物理破壊と破壊画像の撮影を実施。

検討課題

様々なサイズや形状があるSSD搭載PCの処分時に、HDD用の物理破壊機では未破壊部分が残る可能性があるため、指定業者では物理破壊画像等の明確な証明が出来ないようでした。

また、小型化されたSSDがどこに格納されているかも担当者側では不明で物理破壊方法を模索されていました。

様々な形状・規格が存在するSSDには
SSD専用の物理破壊機を使用



専用機で最大80
箇所を加圧変形



シリアルNo.と管理
コードを撮影



データ突合と
画像の目視確認

POINT

1. SSD専用破壊機
2. 取り漏れ防止
3. 個体管理
4. 証明書無料提出

機密性の高いPCは現地で業務用ソフトウェア によるデータ消去後に記憶媒体の物理破壊を実施

検討課題

不要になった古いPCの保管場所を近日中に取り壊すことになっており、保管していた古いPC自体の処遇を決めかねていました。

他の場所に移動させて安全に管理しなかったようですが、PCの総数は700台程あるため、セキュリティ体制を整えた新たな保管場所を作るのが難しく、廃棄処分を検討されていました。

情報リスクレベルに応じて データ消去を実行

先方セキュリティポリシーに沿って個人情報及び企業機密情報が入ったPCのみ2段階データ消去を実施

解決

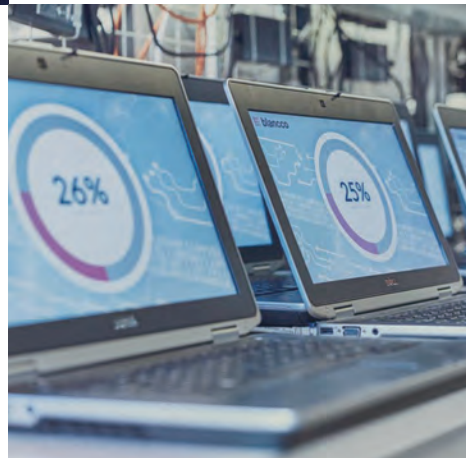
以前先方のご自身でソフトウェアによるデータ消去を実行した上で業者に売却しておりましたが、今後は機密性が高く最重要情報が入ったPCに関しては、データが有る無し問わず、記憶媒体を物理破壊するセキュリティポリシーに変更されました。

そのため、個人情報を多く扱っていた部門や経理部門、法務部門、一定の役職者が使用されていたPCの処分には、当社が訪問しその場で記憶媒体の物理破壊を実施することになりました。

また、物理破壊しないPCの処分も安全性を高めた上で売却を希望されていたため、すべてのPCを当社が使用する業務用消去ソフトウェアによるデータ消去を現地で実施した上で、機密性の高いPCのみ物理破壊を実施する先方のセキュリティポリシーに沿った作業内容をご提案。

- ① 機密性 高 個人情報 = ソフトウェア消去+物理破壊
- ② 機密性 高 企業重要機密情報 = ソフトウェア消去+物理破壊
- ③ 機密性 中 社員業務情報 = ソフトウェア消去
- ④ 機密性 低 公開情報 = ソフトウェア消去

訪問時には作業員名簿と本人確認、持込み機材の確認、金属探知機検査による手荷物検査をお客様と相互確認した上で入室。物理破壊対象のハードディスクの写真を破壊前と後に撮影し、最後にお客様と処分対象機器の現物を相互確認した上で、記憶媒体が入っていないPC筐体とデータ消去された記憶媒体が入っているPCを回収し買取しました。



入退館時に
身体検査



機密性の高いPC
は物理破壊処理



1台ずつデータ
消去証明書発行

POINT

1. 機密性に沿う消去
2. 現地データ消去
3. 入退館時の身体検査
4. 作業結果の相互確認

「情報機器」を
活かす

事例

9

情報通信業

データ消去作業のライブ配信

ライブ配信により立ち会いが不要に 各拠点からライブ映像視聴による消去作業の確認

検討課題

データ管理が厳重な企業様のため、以前は弊社センター内又は自社敷地内でのデータ消去作業に必ずご担当者様が立ち会われていました。

新型コロナウイルス感染防止のため、現地作業も立ち会いも難しくなり、入れ替え作業スケジュールの調整や、保管場所の確保にも困られていました。

各拠点の担当者を繋ぎ回収した PCの開封から映像で確認



音声も双方向でライブ通信 自社敷地内の消去作業場所の確保や立ち会いも不要に

解決

情報機器のご担当者がデータ消去作業をどこからでも確認出来るようにするため、データ消去作業をライブ配信する仕組みを構築。

映像配信と同時に音声も双方向で行えるため、ライブ映像を見ながら質問して確認いただけます。本部側と各拠点側の情報機器担当者が同時に遠隔から確認出来るようになり、消去エビデンスも書類に加え、映像としても取得いただけます。

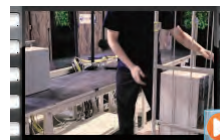
■本案件でのライブ配信フロー

- ① PCを回収したカーゴを開錠する所からライブ中継。
- ② お客様管理番号に沿って映像と音声で作業前の機器を相互確認。
- ③ 物理破壊前のHDD/SSDの抜き取り作業を中継。
 - ↳抜き出したHDD/SSDにはPC筐体と同じ管理番号を貼付け。
 - ↳HDD/SSDの有無と数をご報告。
- ④ HDD/SSDの各専用機を使用した物理破壊作業を配信。
 - ↳破壊前・後の写真撮影。
- ⑤ 物理破壊後のHDD/SSDを抜き出したPC筐体と共に映像で中継。
- ⑥ 作業完了を双方で確認してライブ配信を終了。
- ⑦ 後日物理破壊写真とライブ配信録画映像をメディアで提出。

ライブ配信にすることで、お客様オフィス敷地内で作業する必要もなく、訪問立ち会いも不要となり、本社と拠点のご担当者が遠隔でも消去作業の確認とやり取りが行えるため、結果的に効率化を実現しました。



音声も繋いで双方向
でやり取り



映像エビデンス
提出にも対応



データ消去証明書
も別途送付

POINT

1. ライブ映像配信
2. 開錠時から中継
3. 音声双方向
4. 映像エビデンス

NIST消去方式でHDD/SSDを完全消去

DoD3回上書き消去よりも最新の世界基準である NISTデータ消去規格に沿ってデータを完全消去



総務省の消去ガイドライン基準を満たし
現在の世界基準であるNIST消去を実施

解決

当社は総務省が提唱している機器内の情報リスクレベルに応じた抹消処置となる「米国国立標準技術研究所（NIST）データ消去規格」に準拠した世界基準のデータ消去サービスを提供しています。

総務省のガイドラインでは、高リスクレベルをマイナンバーや企業重要機密情報に定めており、保管場所に職員立会いの下、ソフトウェアデータ消去の上、物理破壊処理としています。その他は上書き消去となっています。データ消去における具体的な消去規格についてはガイドライン上には言及はありませんが、現在の世界基準である「NIST消去」の国内推奨に向けて進めている段階です。

実は長らく日本では、米国国防省規格である「DoD5220.22-M」の3回上書き消去が標準採用されていましたが、消去方式も古く現在のSSDの完全データ消去には完全には対応できず、米国国防省自身によって推奨は取り消されています。

現在では米国国立標準技術研究所(NIST)の「NIST SP 800-88」規格によるセキュリティレベルに応じた「Clear（クリア）」と「Purge（パージ）」消去方法を採用しています。共に1回上書きとなり、Clear消去はリスクレベル小～中、Purge消去はより高いレベルの情報消去やSSDの消去到に用いられています。

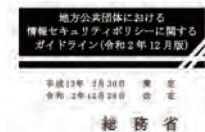
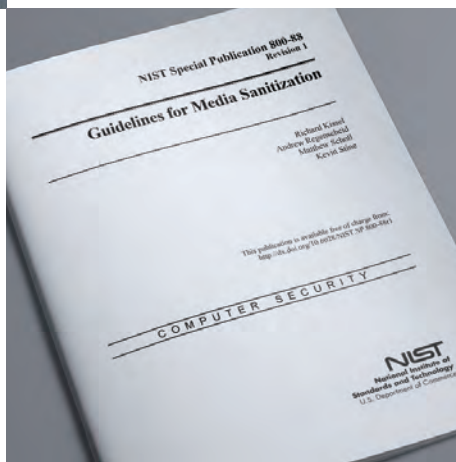
本案件では、SSD搭載PCが多かったため、NIST消去方式に準拠している世界基準ソフト、Blancco社の「SSD Erasure」によりSSDの完全消去を行いました。

検討課題

お客様のセキュリティポリシーが変更され、総務省による推奨抹消処理に沿ったデータ消去方法の確立を模索していました。

総務省のガイドラインは、新しい規格が乱立しているSSD等の最新機器への消去やデータ消去規格にまで言及していないため、実際の消去方法をどのように行うか検討していました。

米国国立標準技術研究所の
「NIST SP 800-88」
データ消去規格



総務省の
ガイドライン



DoD方式は
SSD消去到に懸念



NIST消去規格の
ClearとPurge消去

POINT

1. 世界基準規格
2. NIST消去
3. 総務省ガイドに準拠
4. SSD完全消去

リースアップ品の入替プロジェクトを 常駐スタッフ含め総勢 100 名体制で対応



検討課題

全国に 300 拠点が点在している本グループ会社は、PC やサーバ、プリンターをリース品中心に使用していた。

リース品を調達するベンダーとネットワーク関係を構築する通信会社の 2 社が中心となって機器を管理しており、リースアップ時の全国規模での入替回収、データ消去、リース返却までまとめて行える業者を探していた。

世界最高峰の業務用 データ消去ソフト「Blanco」

PC 回収とサーバアンマウント、 データ消去の上、リース会社へ返却

解決

リースアップ品の PC を自社便で 300 拠点から回収し、当社センターでデータ消去、リース会社へ自社便で返却することを提案。

グループ会社、ベンダー、通信会社との 3 社間の進行調整を含む大規模プロジェクトのため、当社スタッフが先方に数名常駐。

サーバのリースアップ品も数多くあり、サーバアンマウント作業とオンサイト（現場）消去を実施し、プリンタや複合機のリース品の回収と先方購入資産である PC の回収・買取まで全て行うこととなった。

本グループのリースアップ品の入替返却時には、当社が下記作業を中心に請負っている。

- ① PC 回収 → データ消去 → リース会社返却
- ② プリンター / 複合機回収 → データ消去 → リース会社返却
- ③ サーバ回収 → アンマウント → データ消去 → リース会社返却

本社、支社など大きな拠点での回収は、総勢 100 名近くのスタッフを派遣させ作業を実施。

その他、本案件以外にも自社物流と不要品買取機能を活かし、家具・什器の回収と買取、事務所移転に伴う引越しも過去に実施。



1 台づつロックを
解除し PC 回収



サーバコンソール
を SE が操作



サーバも
オンサイト消去

POINT

1. リース返却代行
2. 常駐スタッフ
3. 1 社で全作業
4. 100 名体制

「情報機器」を
活かす

事例

12

電気・ガス

セキュリティカーゴ貸出で定期回収

不要となった PC をセキュリティカーゴに 保管して施錠。集積完了後にピックアップ



保管室にカーゴを設置して外からしっかり施錠
PCが集まり次第回収し、回収時に新たなカーゴを設置

解決

拠点への回収は毎回少ない数で拠点毎に手配していたため、費用がかさんでおり、拠点担当者と本社情報システム室の間で不要となる対象 PC の管理に行き違いも発生していた。

当社のセキュリティカーゴ貸出サービスは、施錠が出来るセキュリティカーゴをお客様の希望する場所に設置し、お客様の拠点から届く PC をカーゴ内に保管いただいて、集積完了後に電話 1 本で回収訪問するサービスです。

外から施錠したセキュリティカーゴは、お客様ご自身で暗証番号の設定も可能で、当社テクニカルセンター到着後に開錠ナンバーをお伝えいただき始めて開錠となる。

本事例では回収以降にまた PC を集積できるように回収時に新たなセキュリティカーゴを設置し、集積後の回収と設置を繰り返して行う定期サービス便となっている。

また、回収時にお客様立ち合いの下、現場でデータ消去も行える為、本事例の企業では、回収現場で HDD を抜き出して物理破壊を行っている。通電しない PC は磁気消去装置によってデータを完全に破壊し、データ消去証明書を発行。

本サービスにより拠点担当者と情報システム室の手間を削減している。

検討課題

関東地方を中心に電気設備工事、電力工事等を行っている総合電気設備会社。

徐々に PC を入れ替えるこの企業では、少ない数で PC を回収するのに費用と手間がかかっていた。また入替時に不要となった情報機器の管理にも手間がかかっていた。

セキュリティカーゴを設置して 定期回収を実現



しっかり施錠
暗証番号付き



お客様の PC が
集まり次第回収訪問



定期回収便として
PC 以外も対応可能

POINT

1. 定期回収便
2. 集積後に電話 1 本
3. セキュリティカーゴ
4. PC 以外も定期回収

PC 入替え業務に適したキitting

マスター機作成からの各種キitting作業 入替え業務を楽にさせる入出庫管理・手順書作成



検討課題

2,000 台分の PC をスケジュール通りに新 PC に入替えるキitting業務を行うには要員が足りず、入出庫させる場所とキitting後の拠点入替えスケジュールに合わせて出荷するまで保管しておく場所も足りなかった。

外部業者を検討したが、一連のキitting作業費や細かい諸作業に関して業者が消極的でレスポンスも悪かった。

**新しい機器の導入時には
きめ細やかな対応が必要**

**荷受検品お預かりと入出庫管理。型番・シリアル・IP 等の
管理番号表を作成し、進捗と配布先 (担当情報) を共有**

解決

各拠点のリプレースタイミングに合わせて 2 年間で 2,000 台の入出庫管理を含めたキitting業務を請負。

PC のセットアップはマスター機を当社が作成し、クローニング。個別設定・各種指定ソフトウェアのインストールを実施。ローカルネットワークでなければ入れられないソフトウェアは、お客様のネットワーク回線を当社テクニカルセンターに引き込んでインストール。

お客様が調達する PC の納品先を当社テクニカルセンターで受付。入荷時に機器の検品から型番等の情報を取得し、管理番号も付与。「入荷・検品」→「キitting」→「利用者への出荷」までの入出庫管理をお客様と共有することにより、お客様の入替え管理業務を大幅に軽減。2 年後の入替え終了まで一連のキitting作業を継続。

□キitting作業内容

- └PC 荷受けから保管 (入替え終了するまで)
- └機器検品
- └マスター機作成・クローニング・個別設定・ソフト導入等
- └型番・シリアル・管理 No・IP アドレス・発送先情報 (住所・部門名・配布担当者名) の一覧作成
- └キitting完了時期、出荷時期を付加し、定期的
上記情報と進捗状況をエンドユーザー様と共有。
- └管理ラベル作成・貼付け
- └社員向け手順書作成 (起動・設定手順等)



**拠点社員用に
手順書作成**

**本部 TC で
入出庫管理**



**別途回線を引いて
顧客の回線と接続**

POINT

1. マスター作成
2. 遠隔インストール
3. 入出庫管理共有
4. 手順書作成

お客様のリソース不足を解消するIT業務

事例

14

導入PCのキittingと社員への手渡し 入替えたPCの買取とデータ消去



検討課題

大阪に本社のある企業様。
東京支店の導入端末におけるPCキitting業務と旧PCの処分が必要でしたが、東京支店側でのキitting要員が不足しており、大阪本社側のSEが出向く事も難しいようでした。

外部委託先も探していましたが、旧PCの処分売却とデータ消去も含めて1社でお願いしたいようでした。

拠点担当者の不在による リソース不足を代行業務で解消

支店側の導入PCをキittingし、 支店側に窓口を設置してPCを社員ごとに手渡し

解決

先方のリソース不足改善を支援するために、新しいPCのキitting業務と入替え作業の代行、不要となる入替えたPCの買取をご提案。

お客様が導入する新しいPCの台数は約100台を予定しておりましたが、五月雨で入替えを順次行っていくとの事でしたので、導入予定のPCをお客様企業仕様にするためのキitting業務の他、キittingを済ませたPCをお客様の拠点に出向いて新PCを対象者に1つ1つ手渡し。不要となる旧PCを手渡し時に交換して回収。回収後にデータ消去して買取しました。

■作業内容

1. お客様が購入したPCをお預かりして検品。
2. 個体毎に管理バーコードシールを貼付けして個体管理。
3. マスター機をお預かりしてクローニング。
4. 入替え依頼が入ったら各拠点に配送。
5. 拠点に窓口を設け、新PCと旧PCを手渡しで引き換えして回収。
6. 回収した旧PCはデータ消去して消去証明書を発行。
7. 入替えた旧PCの買取金額をお支払い。

お客様に各拠点の入替え状況と回収・データ消去状況をシートで共有。当社まで入替え指示をするだけで入替え業務が完結出来るようにしてお客様のリソース不足を大幅に解消。旧PCの買取により全体の費用も圧縮しました。



窓口を設けて
PC引き渡し



交換対象者に
新PCを手渡し



入替えとなった
旧PCは買取

POINT

1. リソース解消
2. クローニング
3. 導入PC手渡し
4. 旧PCを買取

現地でOSアップグレード・キッティング

お客様先でPCセットアップ業務 合計350台を計25日間で設定



検討課題

システム開発から情報機器のLCM（PCライフサイクルマネジメント）などを行っているSIer企業様。

新OSへの切り替え時期のため案件が多く、クライアント現場に訪問してキッティング作業を行える業者を探していました。

フィールドエンジニアによる オンサイト作業

現地でOSアップグレードの他 ライセンス認証、データ移行など実施

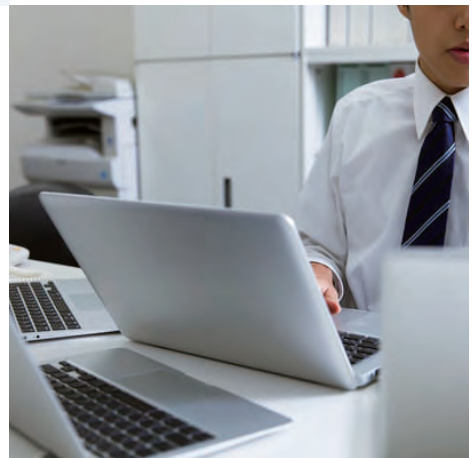
解決

以前から先方のPC-LCM（PCライフサイクルマネジメント）サービスにおいて、入替えたPCの回収及び買取、データ消去とその証明書の提出をしておりました。

その企業様がクライアント先の現場に訪問して、導入するPCのキッティング作業に対応できる業者を探しておりましたが、業者選定の条件は、内部にキッティング専用の部門があり、クライアント先への訪問作業の実績がある業者を探していたため、条件を満たす当社が引き受けさせていただきました。

本案件では、クライアントの日程を前提とした作業スケジュールの調整と、予算範囲内での見積を提出。直接クライアントの現場に訪問し、OSアップグレードの設定及びデータ移行を実行。350台に対して1日3,4名体制で計25日間の下記作業を実施。

- ① Windows7からWindows10へのアップグレード作業
↳ 指定ツールを使用してデータ移行
- ② 指定ソフトウェアインストール
↳ 5つのクライアント先向けソフト
- ③ 各種設定
↳ ソフトウェア設定、Office認証、BIOS設定、ドメイン参加
- ④ 諸作業
↳ ラベル貼り付け、PC設置、既存PC引取受付（後日直送）



OSインストール と各種設定

Office ライセンス認証



ソフトウェアの ライセンス認証



資産管理 番号の貼付け

POINT

1. SIer企業の委託
2. オンサイト業務
3. PCセットアップ
4. 25日間現地作業

「情報機器」を
活かす

情報通信業

SIerからPC1000台キittingング依頼

事例

16

適切な費用とRFP外にも対応する 臨機応変な作業でキittingングを実現



検討課題

グループ企業のPC入替え時のキittingングを子会社のユーザー系情報システム会社様が行っておりました。

数百台規模のキittingングとなるとリソースが足りず、外注でのキittingング費用面と作業開始後にも色々な要求に臨機応変に対応出来る業者がなかなか見つからないとの事でした。

複数業者の中から
当社が請負

マスター機の作成からクローニング、
各種設定に加えて予備機も用意

解決

グループ企業のパソコン入替えに伴い、約1,000台のキittingングが予定されておりました。事前にキittingング内容を細かく確認し、作業内容を工数を明確化させお客様の不安を払拭し、当社の見積したキittingング費用にも満足いただき、質疑応答も迅速であったことも評価された結果、当社が全数担当いたしました。

キittingング内容について詳細を協議し、依頼されたSIer先のクライアントが購入した新品ノートPC・デスクPC・液晶モニターを一時保管。マスター機を作成して各種キittingング後に指定先へ配送。運用中のサポートは、予備機を用意して5年間保管。故障時の交換機をキittingングして発送。故障機器はメーカー修理後、予備機として保管致しました。

主なキittingング内容は下記。

- ・マスター機作成
- ・ネットワーク設定
- ・ドメイン参加
- ・Hostsファイルコピー
- ・不要ソフト削除
- ・アップデート
- ・個別ソフト導入及び設定
- ・Microsoft認証
- ・IP設定
- ・管理シール貼付
- ・一時保管
- ・クローニング
- ・保守サポート

費用の削減とRFP（提案依頼書）外の事でも、臨機応変に対応し、約1,000台のキittingングを実施。



FE部門がキittingングを担当



進捗を
お客様と共有



セットアップ品
を拠点に配送

POINT

1. 競争入札で最安
2. SIerから1,000台
3. RFP外も対応
4. 進捗共有

年間 100 万台の買取台数により 同一機種を低価格で長期レンタル



万単位で買取しているため、
同一機種を低価格でレンタル

解決

当社は比較的高いスペックの PC や事務作業用 PC 等を、法人専用のレンタル PC として常時在庫している。企業から PC を大量に買取していることから、比較的レンタル価格を安価に抑えられるため、半年間という研修期間終了までの PC レンタルにおいてボリュームディスカウントしたお見積りを提出。

更に、研修用 PC に必要なアプリケーションインストールから現地での設置・設定・予備機提供を実施し、返却時の回収からデータ消去までお客様の手間とコストを極力削減できるように下記レンタル内容を提案。

- ① 高スペック PC 端末の用意
- ② 予備機の無償提供
- ③ キitting
- ④ 現地設置・設定
- ⑤ 自社物流による回収
- ⑥ データ消去

この結果、他のレンタル会社から当社へ切替えていただき、比較的高いスペックの PC 約 600 台を研修終了までレンタル。

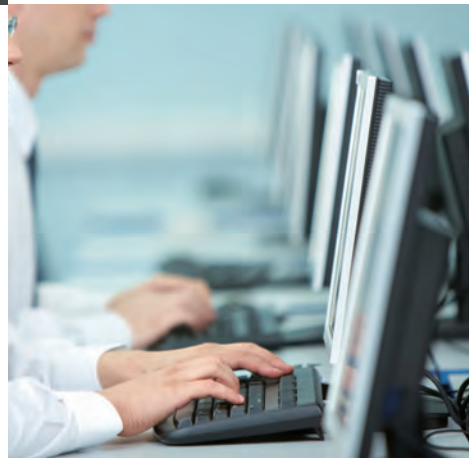
これにより研修を行っている企業側は、レンタル費用と手間を削減することに成功した。

検討課題

企業の新入社員向けに IT 研修を行っている企業が、大手レンタル会社に研修用 PC を依頼をしていた。

全研修プログラムが完了するまで半年間レンタルすればコストが高く、PC を使用する時だけ使用し都度返却した方がコストは抑えられるが、その手間にも悩んでいた。

法人専門のレンタル体制
企業側のコストと手間を削減



プログラミング
実習用のレンタル



イベントや
選挙にも貸出



レンタル PC を
常備

POINT

1. 大量同一機種
2. 手間削減
3. コスト削減

数百台の同一機種レンタルを実現させ、 緊迫感のあるシーン撮影に機材協力



検討課題

映画会社の看板映画撮影にあたり、美術チームが相当数の PC を探していた。

作戦総本部・防衛省などの大規模なセットで使用するため、数百台規模で同一機種 PC が必要となった。

PC メーカーでは数台の貸出ししか行っておらず、レンタル会社では価格面で折り合いがつかなかった。

**PC、モニター、マウス
キーボードを黒で統一**

緊迫感のある撮影シーンとセット、 モニター映像に合わせて PC 全てを用意

解決

1 度に数百から数万台の企業 PC 買取を行っている当社は、レンタル PC 用として様々な PC やモニターを在庫しているため、デスクトップ PC、液晶モニター、ノート PC、キーボード、マウス、ケーブルなど映画制作会社の希望に沿って数百台単位のレンタルを実現。

撮影では実際に PC を稼働させ、先方のクリエイティブチームが作成した映像を液晶モニターに流すため、それに適した解像度のモニターと PC を用意。

本件は緊迫感のある重要なシーン撮影となるため、万が一のことがないように、予備 PC も待機させてバックアップ体制を整えた。

当社がレンタルした主な機材は下記。

- ① デスクトップ PC 1 機種 200 台
- ② ノート PC 2 機種 150 台 (1 機種英語キーボード)
- ③ 液晶モニター 3 機種 200 台

撮影シーンとセットに合わせ、機材を全て黒に統一し重厚感のあるシーンの撮影協力が出来た。



同一機種を
200台用意



他の映画へも
都度レンタル



映像解像度
に合わせて手配

POINT

1. 大量同一機種
2. 予備機
3. 要望通りの PC

全国にある塾の映像授業向けに 今までに 2 万台を販売・設置



検討課題

DVD 視聴による映像授業を行っていたが、更なる授業内容の充実にはコンテンツ内容の更新や時勢に合わせて授業の追加をしなければならなかった。

製作の手間とコストの観点から映像をデータとしてサーバにアップロードし、生徒が容易にアクセス出来るようにしたかった。

リユース PC を 全国の塾に設置

リユース PC で大幅コストダウン 新品同様の 1 年保証、20 台に 1 台予備機提供

解決

メーカー新品だと端末だけで最低でも 1 台 5 万円は必要となる。更に、生徒のアクセス制限や独自のアプリケーションインストールを施すと、総額 6 万円以上もかかるとのことで、当社のリユース PC 提供と専用 SE で行うキittingをご紹介。

これにより、当社が提供する PC とキittingを合わせても、新品を調達するより 1 台 3 万円以上の大幅コストダウンとなった。

当社法人用のリユース PC は、メーカー新品同様の 1 年保証に加え、提供台数に対する 5% 分の予備機を無償で提供。

アプリケーションのインストールの他、現地での設置、動作チェック、LAN 接続なども実施。

当社は年間 100 万台以上の企業 PC 買取により同一機種を多く提供することが可能であり、仕入れた PC を 100 項目に及ぶ検査とクリーニングを施し、必要に応じて修理も行っている。

Office ソフトが「快適に」使用できるリユース PC から、比較的高スペックを所望する際にも、各種ご要望に応じチョイスができます。営業用、事務用と同一 PC を大量に所望された際にも、ご提供いたします。



100 項目に 及ぶ検査

徹底クリーニング



現地での設置と 設定も実施

POINT

1. 大幅コストダウン
2. 保証 1 年
3. 予備機提供
4. 再生技術

店舗移転、レイアウト変更時に 情報機器の撤去回収処分、一部移送、移設

検討課題

中部地方を中心に約 130 店舗を持つ金融機関。店舗移転時やレイアウト変更時には、不要となる PBX（電話交換機）と電話機等の廃棄と PC やネットワーク機器のデータ消去、店舗間輸送や不要物の廃棄をしていた。

IT ベンダーと地元の廃棄業者に依頼していたが高コストな上、時間と作業領域の制限が多く手間もかかっていた。

ビジネスフォンを 大量に撤去・回収



大手 IT ベンダーと廃棄業者では
難しい作業当日のイレギュラー対応まで

解決

今までの大手 IT 業者は作業費用も高く作業範囲も決まっており、事前に打ち合わせした内容以外には対応しないため、店舗移転やレイアウト変更に伴うイレギュラー事案が頻繁に発生していました。

当社は自社に IT 部門、撤去回収部門、物流部門、買取部門と各作業に対応できるため、作業範囲も広く急な依頼にも対応できる体制を整えています。そのため、お客様が希望されている臨機応変な作業内容の変更や作業の追加も各専門部隊によって対応しています。

本案件では、お客様の悩みであった複数業者への依頼による作業管理の煩雑さを、当社へ 1 本化する事で問題を解消し、それによる大幅コスト削減にも繋がりました。

本案件の主な作業内容

- ① PBX(電話交換機) 撤去回収・廃棄処分
- ② ビジネスフォン 撤去回収・廃棄処分 ※一部買取
- ③ ネットワーク機器 撤去回収・移送・移設(接続/ケーブル結束)
- ④ PC 現地データ消去・買取・一部店舗へ移送・設置

撤去後に建設会社、什器納入業者、工事業者などがスムーズに作業に入れたため、担当者側も店舗の作り込みに専念することが出来ました。



ネットワーク機器
を撤去・移送・移設



PBX を
取外して回収



PC を買取
一部移送・移設

POINT

1. PBX撤去処分
2. 電話機回収
3. 回収→移送→移設
4. イレギュラー対応

「不要品」を
活かす

製造業

什器類とPCの同時回収で処分費をゼロに

事例

21

廃棄処分が必要な古い什器類と買取可能なPCとの 同時回収により処分費用を相殺

検討課題

食品会社の工場移転に伴う残置物の撤去を先方の総務部門から以前ご依頼いただいた際に、情報システム部門からもお声がけいただき、情報システム部門が管理している古くなった不要什器とPCの同時処分したいとの事でした。

不要什器は古く買い手がつかない状態で処分費用がかかるためお困りでした。

現地調査で古い什器の確認と PCの固有情報や状態を確認



PC買取と不要什器処分の2つのサービスを 組み合わせる事により処分費用面を解決

解決

買い手のつかない古くなった什器処分とPC買取を請求上で切り離すと、什器の解体撤去作業費と廃棄処分費用によりコスト負担になるため、現地調査の際に対象什器とPCを確認して処分に関わる作業費用も試算したところ、PCとの同時回収が可能であれば相殺ゼロ円も可能だという事がわかりました。

不要什器の処分に関わる費用をPCの買取によって補うことで、当社にお任せいただく事になりました。

一部什器は現地で解体し搬出作業。PCを安全に回収して買取及びデータ消去。作業はすべて自社で実施。什器に関しては廃棄マニフェストを発行し処分いたしました。

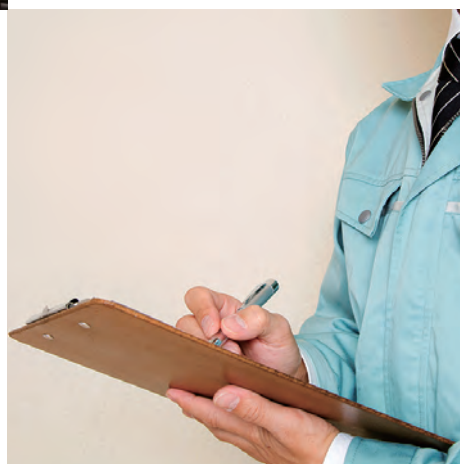
<処分什器>

- ・エグゼクティブデスク x 2
- ・エグゼクティブチェア x 2
- ・会議椅子 x 5
- ・ロッカー x 5
- ・上下キャビネット x 10
- ・ワゴン x 20

<買取PC>

- ・ノートPC x 50

2つのサービスを組み合わせることによって、お客様の課題であった不要什器の処分費用をPC同時買取により相殺することが出来ました。



古い什器を 廃棄処分



PCを リユース買取



処分費用を 買取で相殺

POINT

1. 相殺ゼロ円処分
2. 古い家具什器
3. サービス組合せ
4. 一括回収

「不要品」を
活かす

運輸・物流業

残置物オフィス什器の循環型処分

事例

22

廃棄物の排出をリユース・リサイクルにより 最小化し処分コストも削減

検討課題

循環型・持続可能な社会形成を目指し、環境における長期ビジョンを経営に組み込んでいる企業様。移転に伴い不要となる什器類が大量に排出される予定でした。

資源の有効活用が出来る処分を希望され、排出物を廃棄より環境に良い処分方法を探していました。

**リユース・リサイクルの二段階
買取査定により処分費用も削減**



廃棄物を最小限にする仕分け分別
回収した物を市場で再循環

解決

当社は極力廃棄せず必要な人に再利用いただけるよう、中古市場で再使用できる物はリユース買取しており、製造原料や燃料に変えられる物をリサイクル買取しています。市場でのニーズのない物や処理出来ない物をマニフェストを発行して処分しています。

現地調査の上、再循環のための仕分けと見積査定をした上で下記の工程で作業を実施。

<処理工程>

- ① **仕分け・撤去** ※産廃業者は本工程を行わないためすべて廃棄処分
└3分類に仕分け (リユース品・リサイクル品・廃棄物)
- ② **回収**
└3通りに回収 (リユース回収便・リサイクル回収便・産廃回収便)
- ③ **リユース**
└3市場で再循環 (小売市場・オークション市場・サブスク市場)
- ④ **リサイクル**
└3分類に再循環 (製造原料・燃料原料・樹皮原料)
- ⑤ **廃棄処理**
└3分類に処理 (熱却・安定型処分場・管理型処分場)
※ 安定型処分場 - 廃棄物の形状が安定している産業廃棄物が対象
※ 遮断型処分場 - 安定型処分場に埋め立てる以外の産業廃棄物が対象

本案件では、オフィス移転に伴う残置物に対して廃棄物の排出をリユース・リサイクルにより最小限化し、リユース・リサイクルの二段階の買取査定により処分費用も抑えました。



仕分け・資源
ごとの解体



小売市場など
で再循環



製造資源など
で再循環

POINT

1. 循環型処理
2. 廃棄物の削減
3. 市場に再循環
4. コストメリット

「不要品」を
活かす

製造業

6フロアのオフィス不要品撤去・買取

事例

23

オフィス移転に伴う6フロアの 撤去・解体・買取・廃棄をワンストップで



検討課題

事業所を本社へ統合することとなり、それに伴い、事業所側も本社側も3フロアずつ退去する必要があった。

統合後にはオフィス家具・什器類を全て新調することから、大量に出るオフィス不要品を全て処分したかったが、売却品と廃棄品の仕分け業務や撤去を行う複数業者の管理業務に対して不安があった。

オフィスにあるモノ 全てを撤去

2段階査定で引き払いのコスト低減、 ワンストップによる移転撤去

解決

引き払う事業所と、受け入れる本社側の6フロア全ての不要品の撤去・解体・買取・廃棄までワンストップで提案。

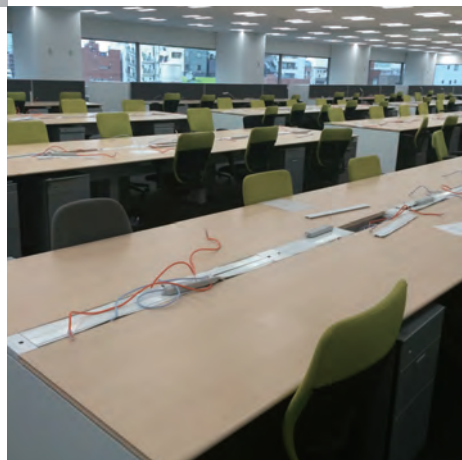
当社における下記オフィス不要品の「リユース・リサイクル2段階買取査定及び廃棄処分」により、残置物の引き払い費用を抑えることが出来た。

- ① リユース買取 - オフィス市場で再販ニーズがあるモノ
- ② リサイクル買取 - マテリアル市場で販売価値があるモノ
- ③ 廃棄処分 - 販売が不可能なモノ

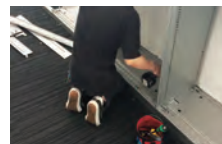
先方から提出された不要品リストの確認や現地調査と打合せを重ねた結果、計6フロアの引き払いにより相当数の処分アイテムが出る事となった。

作業日数6日間、作業人数計80名体制を組み、オフィス什器やパーティションを解体・撤去し、6フロア合計5,800アイテムを引き取り。

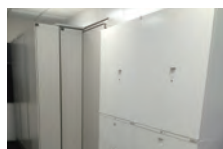
作業中に不要PC130台、携帯電話60台（ガラケー）や電話機600台、雑線（LANケーブル等）も依頼され、同時に引取った。



解体された
什器類



什器の解体・撤去



オフィス不要品を
引き取り

POINT

1. 2段階買取査定
2. 解体撤去
3. ワンストップ対応
4. 80名作業体制

「不要品」を
活かす

放送・出版業

50名程のフロア縮小に伴う残置物処分

事例

24

指定廃棄業者が処分する前に 「リユース・リサイクル買取査定」で処分コスト軽減



検討課題

無料情報誌を発行している企業様。営業所の縮小に伴い、50名程の社員で使用していた2フロアのうち、1フロアをビルに返却する期日が迫る中、残置物の処置に困られていました。

不要となる机や椅子、ロッカーなど一般的なオフィス事務家具・什器類が残置物として残っていました。

50名程のフロア返却に伴う残置物の処分

廃棄物の排出をリユース・リサイクルにより最小限化し、処分コストも削減

解決

お客様がいつも依頼されている指定の廃棄業者がありましたが、明確に廃棄方針が適応される物以外の机や椅子、ロッカーなどのオフィス什器類を、当社がリユース買取または鉄などの資源リサイクル買取の査定をした上で回収させていただく事を提案。

現地訪問して対象物のリユース、リサイクル買取の2段階査定を実施。対象物の中で買取出来ない物をお客様の指定廃棄業者が廃棄処分することになりました。

退去費用を少しでも抑えたいとのことで、大型オフィス什器の取り外しなどの作業はお客様の総務部門が担当し、当社は買取対象物のみ回収しました。

<対象物>

オフィス家具什器類

- └ 机
- └ 椅子
- └ ロッカー
- └ パーテーションなど

フロア返却期日が迫る中、迅速な現地調査と回収、買取によりお客様の手間と費用を削減いたしました。



リユース・リサイクルの2段階査定



買取品を搬出



中古市場や製造原料市場に再循環

POINT

1. フロア縮小
2. 残置物処分
3. 2段階査定
4. 買取品は再循環

「不要品」を
活かす

事例

25

小売業

7フロア分の間仕切り解体・処分

商業施設の移転に伴い7フロア3,300㎡の 間仕切り解体・搬出処分作業

検討課題

オフィスフロアも入っている都心の大型商業施設の移転に伴い、7フロア分の原状回復及び不要品の処分を予定していました。

特に7フロア分もの多くの間仕切り解体業者はまだ決まっていなかったため、入札で解体から撤去処分まで行ってくれる業者を探していました。

**競争入札で都内商業施設での
間仕切り撤去工事を実施
トラック60台分を処分**



**商業施設の7フロア分の間仕切り処分を中心とした
PM(プロジェクトマネージャー)として作業を実施**

解決

過去に同様の撤去内容の実績もあり、処分・工事ための必要資格も保有しているため、不要什器類の処分、間仕切りの解体・撤去処分作業におけるPM（プロジェクトマネージャー）として競争入札に参加させて頂き、当社がPMとして受注いたしました。

<作業内容>

- ▶大型商業施設7フロアの間仕切り3,300㎡の解体作業・搬出・処分
- └日程：15日間、全て22時から6時までの夜間作業で作業。
- └当社：業者手配、ビルや他業者（引越業者、什器買取業者、電気業者）との日程調整、警備員配置。
- └業者：間仕切り解体/ガラス間仕切り解体/搬出/運搬/処分
- └物量：間仕切り3,300㎡
- └想定重量：160 t（160,000kg）
- └車両数：4tトラック60台分
- └作業員数：160名

各作業における業者の手配と作業管理、ビル側との調整（導線の確保や警備員配置）を行いながら解体撤去を進捗させました。

夜間対応、各業者の手配による担当部門の業務軽減・ビル管とのやり取りも含め、一つ一つ丁寧に予定通り7フロア分の間仕切りを解体して安全に搬出しトラック60台分を処分しました。



**15日間の
夜間作業**



**7フロア分の
間仕切り解体撤去**



**間仕切り処分を
中心としたPM**

POINT

1. 間仕切り解体工事
2. 商業施設7フロア分
3. 競争入札
4. PMとして実施

「不要品」を
活かす

卸売業

クリーニング工場の撤去・解体・廃棄

事例

26

専用什器や高圧電線の撤去から 移転、原状回復工事まで請負



検討課題

クリーニング工場と事務所を同じ場所に移転するため、工場設備の解体撤去を行える専用業者を探していた。

外には高圧電線や変圧器等が設置され、中には専用の大型什器があり、それらの解体撤去と原状回復工事までの現場監督含めワンストップで作業を行える業者が必要だった。

専用什器の解体工事 専用車で持ち上げて運搬

現場で特殊什器の解体 高圧電線の撤去工事も実施

解決

お客様が探していた業者は「解体を行える建設業免許を取得しており什器の解体が可能な業者、尚且つ処理場を持つ業者」であることが選定条件だった。当社オフィス工事の保有免許は下記。

- ① 建築一式工事業
- ② 内装仕上工事業
- ③ 一級建築事務所
- ④ 産業廃棄物処分業
- ⑤ 産業廃棄物収集運搬業
- ⑥ 古物商

当社は上記免許により、お客様の条件に応じられるため、本案件では下記の作業を実施。

- ・事務所の引越し
- ・特殊残置物の解体、撤去
- ・買取、廃棄処分
- ・原状回復工事

高圧電線や専門什器が外に設置されているこの工場は、所謂“危険物倉庫”と呼ばれており、安全確実な作業を求められた。

当社は現場監督兼作業業者として、工場外の専門什器類を解体撤去し、工場内のクリーニング機械等の什器類も解体撤去。当社リサイクルセンターに運搬後、マテリアル処理と廃棄処分。



業務用洗濯機



ボイラー等の
特殊専用什器



配管も撤去し、
原状回復工事

POINT

1. 危険物倉庫対応
2. 特殊什器の解体
3. 高圧電線の撤去
4. 原状回復工事

「不要品」を
活かす

事例

27

放送・出版業

業務用大型印刷機の解体撤去・空調撤去

全長 8m の資産印刷機を解体・リサイクル 全長 5m のリース印刷機を分解・返却代行



印刷機を溶断バーナーで解体
エアコンや貯水タンクも撤去

解決

新オフィス・プリンティングセンターに移転することが決まり、印刷機も刷新することになった。現在使用している業務用の全長 8m もある巨大な印刷機の搬出と処分を通常の不要品処分業者では出来ず、移転担当者は困っていた。

印刷機の中には約 5m のリース品も含まれており、返却をする必要があった。また、空調設備のエアコンと室外機の取外しと処分、貯水タンク撤去も必要とされた為、細密な現地調査を数度行った上で撤去工事を実施。

- ① 資産印刷機の解体工事・撤去・リサイクル処分
- ② リース印刷機の分解工事・輸送・組立て返却
- ③ エアコン撤去工事
- ④ 室外機撤去工事
- ⑤ 貯水タンク撤去工事
- ⑥ 什器処分（机・椅子等）
- ⑦ PC リユース買取

リサイクル処分とする資産印刷機は溶断バーナーで接続部分を解体し搬出。屋上にある室外機や貯水タンクは簡易エレベーターを設置し荷卸して搬出。

懸案事項だった大型印刷機と建物付帯設備の撤去を同時解決した。

検討課題

高品質で美しく仕上がるように業務用オフセット印刷機でパンフレット等を DTP 制作から印刷まで行っている大手印刷会社。

移転に伴い全長約 8m もある資産印刷機を処分し、リース印刷機も返却する必要があり、その他自社ビル移転に伴い建物付帯設備も処分しなければならなかった。

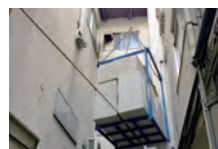
撤去工事作業を安全に手早く
行うために綿密な現地調査



エアコンの
撤去工事



貯水タンクと室外機
撤去工事



荷卸し用の
エレベーター設置

POINT

1. 印刷機分解・解体
2. エアコン撤去
3. 貯水タンク撤去
4. 簡易エレベーター

「不要品」を
活かす

保険業

大量の災害備蓄品を撤去して処分

事例

28

水や非常食、帰宅用の折りたたみ自転車 寝袋など災害備蓄品一式を処分



産業廃棄物中間処理業務の
包括契約を結び一括処分

解決

各支社が管轄する各営業所に配布していた災害備蓄品の多くが残置物となり、当社が災害備蓄品を置いてある棚などの什器を含め撤去して処分することとなりました。

自社便で撤去・回収した物は下記。

- | | |
|-----------|------------------|
| ① 水 | 約 3,000L |
| ② 非常食 | 約 4,000パック |
| ③ 寝袋 | 約 100個 |
| ④ 折り畳み自転車 | 約 100台（帰宅や拠点連絡用） |
| ⑤ 携帯トイレ | 約 10,000個 |
| ⑥ 軍手 | 約 1,000組 |
| ⑦ ヘルメット | 約 1,000個 |
| ⑧ ライト | 約 1,000個 |
| ⑨ 文房具 | 約 500セット |
| ⑩ 紙コップ | 約 5,000個 |

ヘルメットやライトなどは廃プラスチックとして処分。折り畳み自転車などは鉄の原料として再利用するマテリアル買取。

この他、全国に点在する支社からは来客用のカウンターテーブルや会議室の机・椅子等も同時に引き取り。

検討課題

約 900 拠点ある大手生命保険会社。支社が営業所の備蓄品を配布・集中管理していたが、消費期限が迫っていたモノもありこの機に今後は拠点毎に管理し、古いモノを一斉に廃棄する事になった。

食品以外にも災害時用のヘルメットや移動用自転車など処分する物が多く、一括で処理してくれる業者を探していた。

各支社、各営業所には
大量の消費期限間近の災害備蓄品



消費期限が迫る
水約 3,000ℓ



寝袋も回収



不要となった
折り畳み自転車

POINT

1. 災害備蓄品入換処分
2. 拠点回収
3. 鉄はリサイクル買取
4. 什器類も同時回収

「不要品」を
活かす

建設・不動産業

移転に伴う残置物回収・機密書類溶解

事例

29

2t 車 50 台分の残置物回収 機密書類は溶解処分



旧本社ビルの全フロア 1F～4F まで
約 100t の残置物を撤去回収

解決

現地調査から約 100t 分の残置物回収となることを確認。
当社の 2t トラックを 1 日 7 台出動させて、旧本社ビルの
1F～4F までの残置物を全て回収することとなった。

長年使用してきたオフィス家具・什器の場合には、市場で再販
ニーズがないモノも多くあった。それら廃棄処分物には“バツカン”
と呼ばれるコンテナを各所に設置し、そこに廃棄物を入れて廃棄物
専用のアームロール車で運搬。

残置物の 2 割が機密書類であり、セキュリティ対策を施した自社
トラックで自社スタッフが回収。専用施設にて溶解処理し、紙資源
としてリサイクル。お客様には溶解処理証明書を発行し提出。

オフィス家具、什器などは 25 年使用していたため廃棄処分を
する必要のあるモノが多く、マテリアル化出来るモノは
当社センターで品目毎に中間処理を施しリサイクル。

廃棄処分のモノはマニフェストを発行して最終処分場へ。
リユース市場でニーズがあるモノは再度市場へ導入した。

機密書類含め、オフィス残置物の撤去回収から処分まで全てを
当社が実施し、移転後には大量に贈られた胡蝶蘭の処分も請負った。

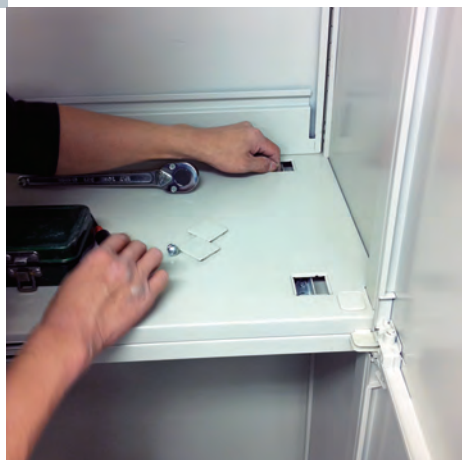
検討課題

計 600 坪、500 名程が働いていた
建設会社の本社が、新たに自社ビルを
建てて移転することとなった。

新社屋に相応しいオフィス家具・什器
類を新調するため、大量に残置物が
出ることとなった。

また、これを機に機密書類も同時に
処分したかった。

自社トラック、自社スタッフで
約 1 週間で作業完遂



2t 車 50 台分
2 割が機密書類



廃棄物専用の
アームロール車



機密書類の
溶解処理

POINT

1. 自社トラック
2. 自社スタッフ
3. 溶解処理

「不要品」を
活かす

事例

30

教育・学校

廃校となった大学の残置物撤去・回収

校舎内、学生会館、職員宿舎、学生寮、倉庫などに残された家具・什器・設備類を全て撤去



検討課題

複数のキャンパスを持つ大学が、地方のキャンパスを都心に移転するため、廃校とした。

移転先のキャンパスは都心に相応しいコンセプトで新しく作るため、廃校となったキャンパスには相当量の家具や什器、建物付帯設備などが残った。量と種類が多い為、複数の業者管理と廃棄費用に悩んでいた。

ユンボクラッシャーで 廃棄品を圧縮解体

大型の什器や備品は専用車両で破壊圧縮
作業期間 1 ヶ月、200t 以上の搬出に

解決

古いキャンパスだったため、移転先で使用する家具や什器・備品は少なかった。そのため数多くの廃棄物があるまま残置物となっていた。廃校の廃棄品管理側の管理負担軽減と費用軽減となるよう下記を提案。

1. 三段階評価査定による費用軽減
└リユース買取
└リサイクル買取
└廃棄処分
2. 一業者のみで家具・什器・備品の撤去
└各種専用車両での撤去搬出
└作業員 20 名体制で 1 ヶ月完工

机、椅子など木屑・混合廃棄物をパッカー車で破碎し搬出。バックカンで積荷されたモノはアームロール車で搬出。大型の備品類は移動式クレーン搭載のユニック車で 3 階建て校舎から荷卸し。荷卸したモノをユンボクラッシャーで圧縮解体後、フォークリフトを使用し 2t トラック、4t トラックで搬出。

その他、音楽室にあるピアノや研究室にある顕微鏡などの備品類、食堂の食器類、各部屋のカーテン類や修繕用のタイル等全て撤去搬出。1 社で廃棄まで行うことにより作業と費用の大幅軽減となった。



音楽教室の
ピアノも撤去



渡り通路から
地上に荷卸し



荷卸しは
ユニック車

POINT

1. 三段階評価査定
2. 一社で廃棄まで
3. 専用車両
4. コスト削減

「不要品」を
活かす

事例

31

小売業

POS レジ、釣銭機入れ替え回収

レジ台含め 300 店舗以上から 店舗機器 15,000 アイテム買取



検討課題

300 店舗以上を持つ大手スーパーが、新システムの導入に伴って POS レジや釣銭機のリプレースを検討していた。

その他にも廃棄物が溜まっており、スムーズに回収・運搬が行え、対象物全てに対応出来る業者を探していた。

1 台 25kg の釣銭機
4,200 台

お客様が費用をかけて
廃棄していたモノを当社が買取

解決

「不要品なら全てを取扱う」当社は POS レジ、釣銭機の買取を提案。

今までは費用をかけて廃棄業者に処分依頼していたモノを当社が買取ることとなり、お支払した上で全てのモノを回収。

POS レジと釣銭機以外にも、入れ替えに伴い不要となるレジ関連一式も買取。

買取・回収したモノは下記。

① POS レジ	約 2,500 台	20kg/1 台
② 釣銭機	約 4,200 台	25kg/1 台
③ 会計スキャナー	約 1,500 台	15kg/1 台
④ 対面レジ台	約 2,500 台	87kg/1 台
⑤ レジ袋ストッカー	約 3,000 個	5kg/1 台
⑥ UPS	約 500 台	20kg/1 台

お店を稼働しながら入替を行うため、1 週間で 20 店舗ずつ訪問し
随時回収。買取った POS レジ等は当社リサイクルセンターまで
運搬。機器を解体してマテリアル処理。

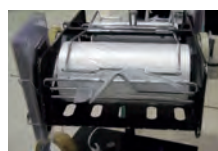
廃棄ではなく買取することにより、他の店舗設備投資に
貢献できる結果となった。



レジ台含め全て
買取・回収



会計スキャナー



レジ袋ストッカー

POINT

1. レジ一式買取
2. 廃棄品を買取
3. リサイクル

「不要品」を
活かす

金融業

入れ替えに伴い ATM150 台撤去回収

事例

32

ATM を取外して 10t トラックで回収 中のデータを消去し、物理破壊



検討課題

新システムへの移行に伴い
ATM を入れ替える必要があった。

ATM の撤去回収と処分コストが毎回
相当かかることに銀行側は悩んでいた。

だが、ATM は特殊な機器であるため、
業者の選定には ATM 撤去技術・実績
及び中のデータ消去技術があることも
必須条件だった。

導入メーカーと連携し 取外して撤去回収

資源買取することにより 処分費用を無くし、売却利益の還元

解決

全国自社物流網を構築し、各地で様々な撤去業者と連携している
当社は、ATM の取外し技術と実績を有する業者と撤去回収から
中に入っているデータの消去、リサイクル化までを金融機関に提案。

ATM 導入メーカー（システム導入会社）と連携し取外して撤去。
取外した ATM は、1 台 250kg ~ 最大 500kg にもなるため、
10t トラックで回収。

ATM の中に入っている HDD を取外した後に、世界有数の業務用デー
タ消去ソフトによるデータを消去した上で、物理破壊を実行。

今まで ATM の入れ替えに伴う古い ATM の処分には、相当な費用がか
かっていたようですが、当社が資源として買取したため、売却利益
として還元させていただく事が出来ました。

今までに ATM150 台の撤去回収と買取を行い、マテリアルとして
リサイクル処分。



ATM 取外し



10t トラック回収



様々な ATM に対応

POINT

1. ATM 取外し
2. 特殊専用機器回収
3. 資源買取
4. リサイクル

「不要品」を
活かす

宿泊業

10 フloor 320 客室のホテル備品撤去

事例

33

フロアリニューアルに伴い ソファや木製家具など全て撤去



検討課題

水回りや家具などを新調することとなり、この機に対象となったフロアの客室をリニューアルすることとなった。

客室の木製家具を中心としたインテリア類をはじめ、客室にあるその他の備品も全て撤去したかった。他フロアを稼働させながらの撤去作業となるため、きめ細かい対応が可能な業者を探していた。

1フロア20名体制で 撤去・搬出

ホテルの稼働時間に合わせながら、
建物に傷をつけないよう丁寧に作業

解決

ホテルに宿泊するお客様とホテル側に万が一の不快感も与えないよう、作業時間はホテルに宿泊するお客様のコアタイムとなる夕方～夜と朝の時間帯を避け、昼間の作業を提案。

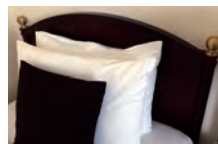
10フロア（10階分）で合計320の客室があり、1フロアにつき32客室あるため、2フロア64客室を3日間ずつかけ、断続的に計320客室の撤去を行う作業工程とした。

壁・床・通路全てにしっかりと養生を施し、大型の木製家具を中心に撤去、自社物流トラックで搬出。

撤去搬出した物量は、10フロアで4tトラック70台分となった。撤去したモノは主に下記。

- ① ソファ
- ② 机
- ③ 椅子
- ④ ベッドヘッド
- ⑤ カーテン
- ⑥ その他備品（時計、ランプ、カーテン、ヘルスメーター等々）

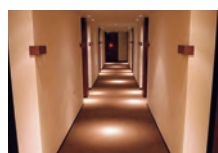
1か月で10フロア320客室の撤去を完遂し、ホテル側からきめ細かい対応とコストパフォーマンスに高い評価を頂いた。



ベッドヘッド



木製家具以外にも
カーテン等の備品も



10フロア
計320客室

POINT

1. 稼働時間に合わせる
2. 全てに養生テープ
3. 低コスト

「不要品」を
活かす

病院・医療

病院一棟 500 病床の不要品撤去買取

事例

34

MRI や X 線装置、電動ベッドまで 10 階建て病棟の全てを撤去買取

検討課題

病床が 500 床あり 1,000 名が働いている病院と、400 床ある大型の病院が統合移転することとなった。移転先で使用しない医療機器や設備が残置物として大量に出るため、その全ての廃棄処分を検討していた。

病院の残置物は、高度医療機器・情報機器・産業廃棄物が混在しており、一元で処分が出来る業者を探していた。

高度医療機器である
MRI や CT、X 線装置



地下 2 階から地上 8 階まで
1 か月かけて全て撤去

解決

MRI や CT、X 線装置等の高度医療機器取扱及び販売許認可を取得している業者と、情報機器と不要品をリユース・リサイクルする当社が病院側へ「医療機器・情報機器・不要品・その他什器類の撤去買取」を提案。

地下 2 階から地上 8 階まで、病床 500 床の 1 棟全ての不要品の撤去回収を 1 か月かけて実施。

撤去買取した主なモノは下記（一例）。

- | | | |
|----------|--------|----------------|
| ■ 高度医療機器 | ■ 情報機器 | ■ その他不要品 |
| ① MRI | ① PC | ① 電動ベッド |
| ② CT | ② サーバ | ② パーティション・机・椅子 |
| ③ X 線装置 | ③ モニタ | ③ その他什器類 |

今まで病院側は医療機器と不要品の処分を、複数の廃棄業者に依頼して廃棄費用をかけていた。本件では当社が元請として適正に買取ることによって、病院側は売却利益の取得を実現した。

日本では品質上まだ使用可能な医療機器が産業廃棄物として廃棄されているのが現状だが、当社では医療機器も買取資産として適正に評価買取し、リユース・リサイクルしている。



顕微鏡や
心電図も買取



電動ベッドも
撤去買取



10 階建て 500 床
全てを撤去

POINT

1. 病院一棟全て
2. 高度医療機器
3. 買取支払

「オフィス」を
活かす

事例

35

サービス業

周年記念のオフィスリフォーム

オフィス内部の解体後に 一からオフィスのフルリフォーム

検討課題

40周年を記念して約550㎡あるオフィスのリフォームを実施し、全ステークホルダーに今後の更なる発展を示したかった。

オフィス内全てのフルリフォームとなるため、解体撤去工事や今後に対応しい洗練されたデザイン設計、良質な家具の調達等全ての進行管理及び工事まで行える業者を探していた。

オープンプレーム化して 効率を上げる会議室

周年コンセプトに沿った フルリニューアルを完工

解決

当社は直接工事を受託する元請業者として、工事業者を管理管轄する「特定建設業」の資格と経験があり、一級建築士のもと建築工事全般を行っています。

本案件では、記念に相応しいオフィスを作るため、先方役員や従業員へのヒアリングを実施し設計内容を確定。当社がプロジェクトマネージャーとなりオフィスデザインと内装プランを作成した上で良質な家具や什器の導入が決定。

各種専門業者の監督・管理を行い、フロアはすべて解体撤去して一からオフィスをフルリニューアルいたしました。本プロジェクトでの工事作業は主に下記。

- ① 仮設工事
- ② 解体工事作業
- ③ 軽鉄間仕切工事
- ④ 木工事
- ⑤ 金物工事
- ⑥ ガラス工事
- ⑦ 塗装工事
- ⑧ 内装仕上工事
- ⑨ サイン工事
- ⑩ 石工事
- ⑪ 電灯・コンセント工事
- ⑫ パーティション工事

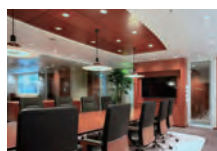
1年かけてフルリフォームを実行。



ラウンジのような
待合室



重役の執務室



解放感のある
商談スペース

POINT

1. フルリフォーム
2. コンセプトデザイン
3. 特定建設業
4. 一級建築士

「オフィス」を
活かす

事例

36

製造業

オフィス新設工事の“プロマネ”

低コストでオフィス創りの要望に 応えるプロジェクトマネジメント

検討課題

手狭となった本社の移転が計画されていたが、同じビルに空きが出来たため空きフロアに借り増しをすることとなった。

借り増しの新設工事を行うにあたり下記の要望が出ていた。

経営陣からの要望は「低コスト」
担当者からの要望は「綺麗に」だった。

パーティション工事や スライディングウォール工事



家具と什器を新品とリユース品でコストダウン 避難経路の設計及び法令遵守のマネジメント

解決

オフィスから情報機器や家具・什器等の不要品を買取してリユース・リサイクルを行っている当社は、新設する本オフィスの家具と什器の購入に関して“新品”と“リユース品”を設置場所に応じて調達する事で、新調費用を抑えた提案を行う。

お客様から見えるところは優先的に“新品”を調達し、ロッカーや棚、作業机、椅子などは“リユース品”とした。

当社の専門スタッフが経営陣と担当者の要望をヒアリングした上で、レイアウト図面を作成し提出。下記の各種工事作業もコストを抑えながら、オフィス作りをワンストップでマネジメント。

- ① 家具の調達（新品 & リユース品）
- ② 什器の調達（新品 & リユース品）
- ③ 間仕切り工事
- ④ スライディングウォール工事
- ⑤ パーティカルブラインド工事
- ⑥ セキュリティロック工事
- ⑦ 電気工事

避難経路設計を含め法令遵守を第一にマネジメントし、お客様からはコストパフォーマンスに関しても高く評価された。



間仕切り工事



電気工事



要望に沿った
図面作成

POINT

1. リユース品
2. コスト優先
3. 避難経路設計

「オフィス」を
活かす

事例

37

放送・出版業

(プロジェクトマネジメント)

グループ会社含め計 7 社の引越し PM

7 社の残置物回収と引越し 原状回復工事までマネジメント

検討課題

テレビ局本社と関連グループ会社 6 社が、グループ全体の業務効率を目的として本社付近に引っ越すことに。

同時期に 6 社を本社付近の新たなビルに移転させる必要があり、引越し作業の他情報機器を含めた残置物の処分と、退去するオフィスの原状回復工事も必要だった。

**点在していたグループ会社
すべてを本社付近に移転**



**移転時の引越し、残置物の撤去を
ワンストップでマネジメント**

解決

当社は以前からリース PC のデータ消去や返却代行業務を請け負っており、その他什器の解体・買取も行っていた。

当社の自社物流は、情報機器とオフィス家具什器の撤去回収や、本件のように、お客様の移転・引越し作業含めた移転工程管理まで行う物流体制を整えている。

本件では受入側の本社とグループ会社 6 社の計 7 社の移転プロジェクトマネジメントを受注。

2 か月で 7 社全ての移転に関する下記作業を完遂。

- ① 什器解体・撤去・回収・移送（買取及び廃棄処分）
- ② 家具の撤去・回収・移送（買取及び廃棄処分）
- ③ PC やサーバのデータ消去・回収・買取
- ④ 自社物流による引越し
- ⑤ 原状回復工事

オフィス移転時の残置物撤去買取、引越しや移設を当社 1 社で完遂したことにより、テレビ局からワンストップの利便性を高く評価頂いた。



**情報機器と
家具・什器回収**



**7 社の
引越し作業**



**移転後の
原状回復工事**

POINT

1. 引越し対応
2. 原状回復工事
3. 解体移設
4. ワンストップ

「オフィス」を
活かす

事例

38

病院・医療

新設拠点でオフィス家具の定額利用

新しく設置する関東と関西の拠点で オフィス家具の気軽なサブスク利用



1拠点10名程の新設オフィスに
月々18,000円でオフィス家具を定額利用

解決

新しいプロジェクトを立ち上げる際に、関東と関西エリアに複数の拠点を数年設置してオフィス家具を調達していましたが、今後はオフィス家具を固定的な所有ではなく、必要な物だけ必要なタイミングで気軽に利用したいとの事でした。

当社は、事業所の立ち上げ時や事業の拡張時、繁忙期やイベント用に月々¥9,000からオフィス家具を定額利用（サブスクリプション）できるサービスを提供しています。※ポイント制

- ・ 30点まで 月々9,000円 目安10坪程度 目安5名程
 例) 両袖デスク×1台/片袖デスク×4台/チェア×5脚/書庫×6台
 会議テーブル×1台/会議チェア×4脚/1人用ロッカー×1台
 4人用ロッカー×1台

※この他60点 月々18,000円、90点¥27,000も有

1拠点に10名程在籍するため、拠点ごとに月々60点コースを先ずは1年を目安に利用する事になりました。費用面は10人分の家具を購入又はリース・レンタルするよりも大幅な費用削減を実現（1拠点あたり10名利用で月々18,000×12ヶ月＝年216,000円）。

検品とメンテナンス、クリーニングを施した事務用の机や椅子、会議用テーブルなどを各拠点に配送し、現在もご利用いただいております。

検討課題

新設のプロジェクトを立ち上げる際には、全国各所に賃貸物件を借りて、オフィス家具を購入するかレンタル・リースのいずれかを選択していました。

数年の利用ともなると、リース・レンタルは購入より費用が高み、購入するにしても初期費用の高さとプロジェクト終了時の処分費も必要な事からオフィス家具の調達方法を見直していました。

**購入・リース・レンタルより
手軽かつ費用も安価**



月々¥9,000からオフィスが作れる

オフィスク

■オフィススク30 ■オフィススク60
■オフィススク90

サブスクリプションサービス



年間2万点
家具什器の取扱い



自社便で家具を
お届け

POINT

1. 家具の定額利用
2. 新拠点で利用
3. 調達費大幅削減
4. いつでも解約可

SECURITY

現在のセキュリティ体制

安全品質委員会

2020年1月に組織横断型の安全品質委員会を設置いたしました。徹底した安全品質の管理・向上のための全体システムの整備を進め、「新・安全基準」を制定し、情報機器リユース業界の新たなセキュリティ基準(スタンダード)を構築すべく取り組んでおります。



新・安全基準

■徹底した持ち出し防止対策

人と物の出入りについてリスクを徹底的に排除した物理的対策(運用面を含む)がとられています。

■全プロセス・機器のリスク対応

各作業プロセス・機器に関する詳細なリスク分析と対策によりサービスが設計されています。

■作業完了のエビデンス提供

作業履歴を保持すると共に確実に消去及び作業が完了したことを示す証明書類をご提供いたします。

物理的な安全対策



1 ▶セキュリティゲートと金属探知機による身体検査

すべての入退出時に空港と同様のセキュリティゲートによる検査と、警備員による金属探知機検査を実施しております。

2 ▶施設内への出入口は1箇所のみ

1箇所以外の出入口を全て封じて、開館と閉館の権限は決められた管理者のみに付与し、作業員は決められた時間以外での入館は出来ません。

3 ▶警備員の常駐配置

常勤で2名警備員を配置し、開館から閉館まで人の確認と入退出の検査、入退出ログ、監視カメラ映像の確認などを実施しております。

4 ▶死角のない監視カメラ

施設内のすべての作業部屋の出入口と敷地内で歩く導線上のすべてに監視カメラを設置。24時間365日録画しております。

5 ▶入退出データと監視カメラ映像との照らし合わせ

入退館、入退出時の記帳とシステムによるログデータに加え監視カメラによる映像を日々確認することにより、証拠を残し、万が一の不正の際の早期発見をいたします。

6 ▶カード・指紋のダブル認証による入退出制限

作業施設への全ての出入口はカード認証、データ消去室では指紋認証とのダブル認証方式によりセキュリティレベルを上げております。

7 ▶退館時の手荷物検査

退館時に手荷物検査を実施。バッグを開封し、検査員が中身をチェックして確認・記録しております。

8 ▶回収時のカーゴパスワード設定と機器リストと現物の確認

回収時に機器リストと現物に間違いがないか確認し、機器が入ったセキュリティカーゴへの施錠パスワードをお客様に設定頂き、封をして回収後に施設内で開封いたします。

仕組み上の安全対策



9 ▶全案件の処理要件をシステム管理

各案件の回収・入荷・データ消去の処理要件をシステムで管理し、現場への作業指示と実行の管理が行える体制としております。

10 ▶入荷から出荷までの個体管理と作業履歴取得

入荷した全てのPC類について、個体毎に異なる個体管理番号を発行し、システム上で作業進捗を管理。入荷からデータ消去・出荷までの作業履歴をすべて取得しております。

11 ▶物流システムによる回収履歴管理

回収時の情報をシステムに登録し、訪問回収時の機器情報や回収施設の情報と併せて履歴を管理しており、次回以降の回収時にお客様側の手間をより削減いたします。

12 ▶システムによる抜け漏れ防止機能

各案件毎に全ての機器に完了フラグが立たないと案件として完了できない制御をシステムでかけることで、作業とデータ消去の抜け漏れを防止しております。

13 ▶物理破壊前後の個体突合せと破壊画像の保存

物理破壊時にPCから取り出したHDDにも商品コードを貼付けて個体識別させ、物理破壊前後の写真撮影および突合せを現物とシステム上でダブルチェックを実施。

14 ▶第三者による作業履歴と品質安全チェック

回収作業から入荷作業に始まり、データ消去完了までの各工程における作業履歴と内容が正しいか、安全品質委員会が日々確認し、安全品質の向上・管理に努めております。

COMPANY PROFILE

会社概要

商 号	株式会社ブロードリンク	
事業内容	中古情報機器の買取及び販売、オフィス及びITソリューション事業	
設立年月日	2000年3月8日	
本社所在地	〒103-0022 東京都中央区日本橋室町四丁目3番18号 東京建物室町ビル8F	
TEL/FAX	TEL 03-3516-8777(代表) FAX 03-3516-8778	
資本金	5億8,358万8千4百円 (資本金 4億4,175万9百円・資本準備金 1億4,183万7千5百円)	
役員	取締役会長 殿井 正純 代表取締役社長 榊 彰一 取締役副社長 村上 崇 専務取締役 深田 洋 常務取締役 吉田 茂 取締役 井上 幸彦 (※) 監査役 安田 隆彦 (弁護士)	専務執行役員 和田 浩一 執行役員 若狭谷 拓 執行役員 萩藤 和明 執行役員 岩倉 久憲 執行役員 飯塚 敏久 執行役員 平原 健太郎 (※) 社外取締役 (第80代元警視總監)
主要株主	榊 彰一 辻本 憲三(株式会社カプコン代表取締役会長CEO) 村上 崇 朝日生命保険相互会社 ブックオフコーポレーション株式会社 アイザワ・インベストメンツ株式会社	株式会社間口 株式会社セーフティ ギグワークス株式会社 テンブスタッフフォーラム株式会社 入交グループ本社株式会社
営業拠点	東京本社 東京都中央区日本橋室町4-3-18 東京建物室町ビル8F 大阪支社 大阪府大阪市中央区南本町3-6-14 イトビル7F	
センター	本部テクニカルセンター 東京都大田区東海1-3-6 プロロジスパーク東京大田5F 大阪テクニカルセンター 大阪府松原市天美南1-216 リサイクルセンター 東京都墨田区東墨田2-21-5	
許認可	情報セキュリティ ISO27001 認証登録番号 IS 517544 古物商 東京都公安委員会許可 第305490306132号 事務機器商 処分業 産業廃棄物処分業許可証 東京都知事許可 第1320115006号 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可 第1350115006号 東京都 小型家電リサイクル法 認定番号 第54号 建築業 建築一式工事業 東京都知事許可(特-29)第138968号 内装仕上工事業 東京都知事許可(特-29)第138968号 一級建築士事務所 東京都知事許可 第60333号 収集運搬業 産業廃棄物収集運搬業許可 東北・北海道……北海道/宮城/福島/岩手/青森/秋田/山形/新潟 関東……東京/神奈川/埼玉/千葉/茨城/群馬/栃木/山梨 関西……大阪/京都/兵庫/奈良/滋賀/和歌山 中部……愛知/静岡/岐阜/福井/富山/石川/長野 九州……福岡/熊本/鹿児島/長崎/宮崎/大分/佐賀 中国……広島/岡山/鳥取/島根/山口	
	東京本社  大阪支社  本部テクニカルセンター  大阪テクニカルセンター  リサイクルセンター 	産業廃棄物収集運搬業 取得都道府県 
参加団体	一般社団法人 日本経済団体連合会(略称:経団連) 一般社団法人 日本青少年育成協会 会員 大阪商工会議所 正会員 公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟 維持会員	

<http://www.broadlink.co.jp/>

「活かす業」を皆様へ 